

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年8月26日(月)  
感染症対策センター  
(衛生環境研究所)

## 令和6年第27週から第30週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(27週～30週)4週 (R6.7.1～R6.7.28)	前回(23週～26週)4週 (R6.6.3～R6.6.30)	前々回(19週～22週)4週 (R6.5.6～R6.6.2)
1 新型コロナウイルス感染症 (1,254) [↑939]	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (567)	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (800)
2 手足口病 (496) [↑358]	2 感染性胃腸炎 (326)	2 感染性胃腸炎 (433)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (423) [↓144]	3 新型コロナウイルス感染症 (315)	3 新型コロナウイルス感染症 (342)
4 感染性胃腸炎 (240) [↓86]	4 RSウイルス感染症 (174)	4 咽頭結膜熱 (137)
5 RSウイルス感染症 (216) [↑42]	5 手足口病 (138)	5 RSウイルス感染症 (98)
6 その他 (284) [↑33]	6 その他 (251)	6 その他 (183)
(合計 2,913)	(合計 1,771)	(合計 1,993)

※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減

全体の報告数は2,913件であり、64%(1,142件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
新型コロナウイルス感染症	298%	感染性胃腸炎	26%
手足口病	259%	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25%
ヘルパンギーナ	74%	咽頭結膜熱	22%
RSウイルス感染症	24%		

### 3 コメント

- ・県内全域に新型コロナウイルス感染症の感染注意情報を発令しています。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。  
また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合があります。土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。
- ・7月3日から県内全域に手足口病警報を発令しています。飛沫や手指を介して感染し、便にもウイルスが排出されます。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いの徹底、換気などの感染予防をお願いします。

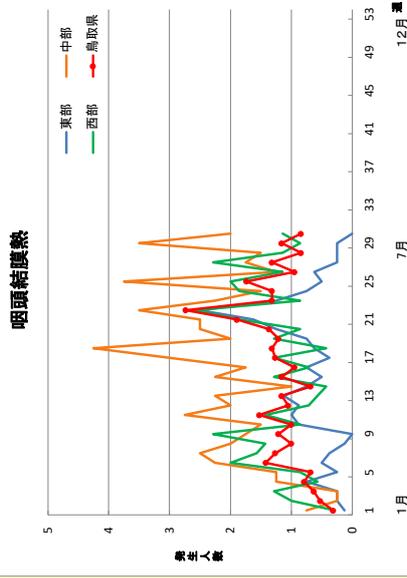
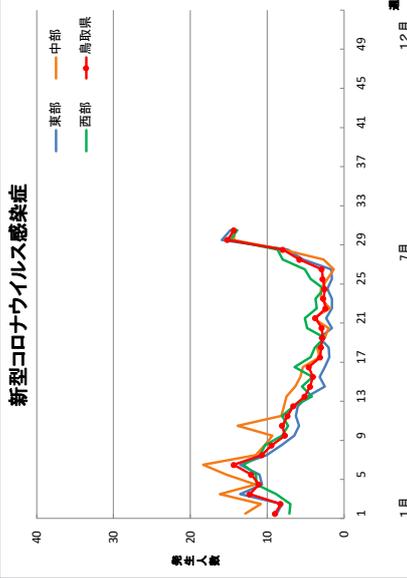
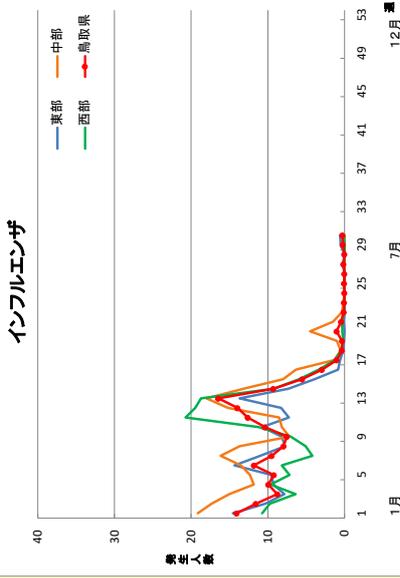
- R S ウイルス感染症が増加傾向であり、注意が必要です。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
- 6月以降、東部地区で小学生から高校生を中心に百日咳が急増しており、注意が必要です。有効な予防法は予防接種ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、乳幼児期に接種した方でも感染することがあります。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
- 梅毒が増加しており、注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

# 令和6年第27週～第30週の報告患者数

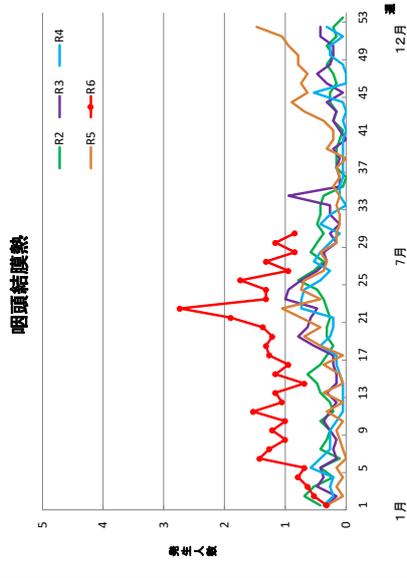
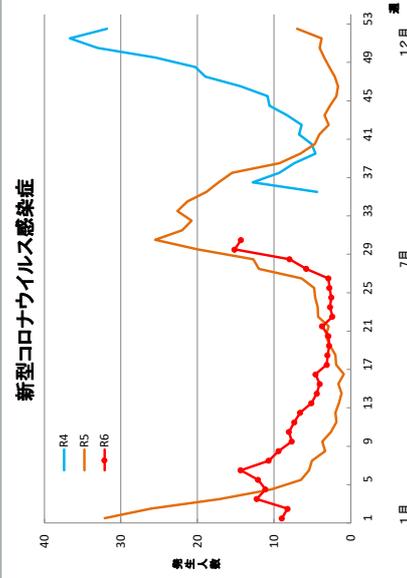
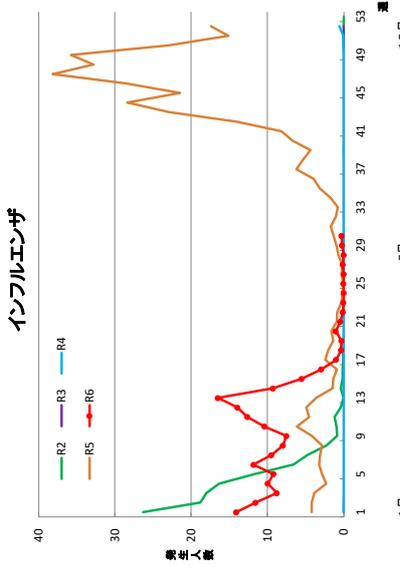
令和6年8月1日 作成

区 分	今回報告患者数 第27週～第30週(4週分)					前回報告患者数 第23週～第26週(4週分)				前々回報告患者数 第19週～第22週(4週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	16	0	2	18	16	0	1	1	2	2	44	9	55	800%	4,796
2 新型コロナウイルス感染症	520	235	499	1,254	939	84	57	174	315	104	62	176	342	298%	6,000
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	6	35	38	79	-22	25	35	41	101	49	42	46	137	-22%	658
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	231	106	86	423	-144	303	123	141	567	398	214	188	800	-25%	4,209
5 感染性胃腸炎	125	44	71	240	-86	161	71	94	326	246	106	81	433	-26%	3,077
6 水痘	9	3	1	13	-15	2	18	8	28	1	8	6	15	-54%	91
7 手足口病	322	132	42	496	358	90	20	28	138	24	1	24	49	259%	721
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	-1	0	1	0	1	0	1	0	1	-100%	3
9 突発性発疹	7	2	7	16	-4	3	7	10	20	2	8	11	21	-20%	121
10 ヘルパンギーナ	31	58	59	148	63	11	31	43	85	2	6	22	30	74%	270
11 流行性耳下腺炎	0	2	0	2	-1	1	1	1	3	0	0	0	0	-33%	13
12 RSウイルス感染症	81	18	117	216	42	83	10	81	174	55	9	34	98	24%	531
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
14 流行性角結膜炎	2	0	2	4	1	2	0	1	3	0	2	3	5	33%	30
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	1	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	100%	9
16 無菌性髄膜炎	0	0	1	1	-2	2	0	1	3	2	0	0	2	-67%	13
17 マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	-4	1	3	0	4	0	5	0	5	-100%	10
合 計	1,352	635	926	2,913	1,142	768	378	625	1,771	885	508	600	1,993	64%	20,556

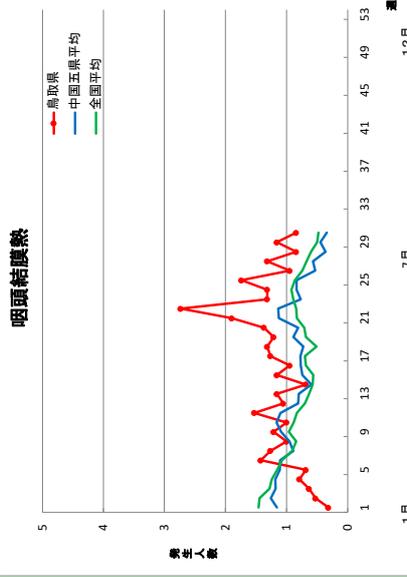
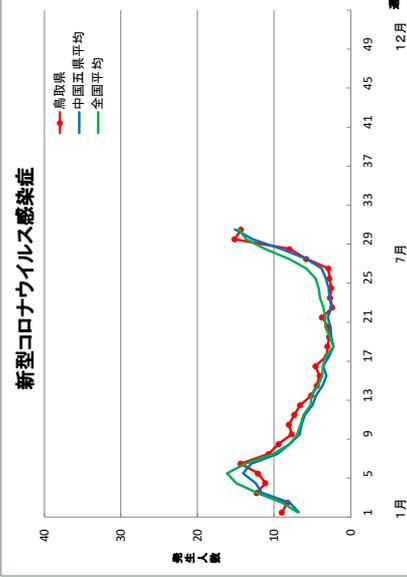
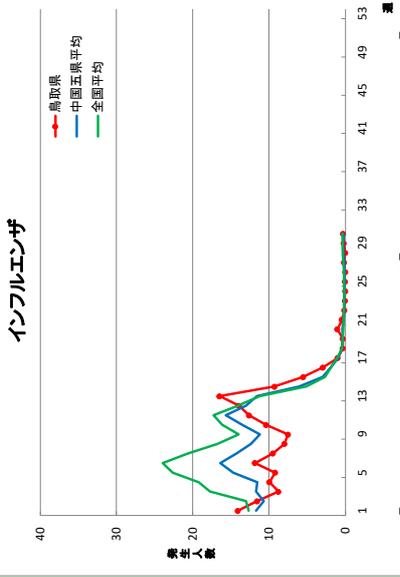
地区発生状況グラフ(定時点たり)



年次別発生状況グラフ(定時点たり)

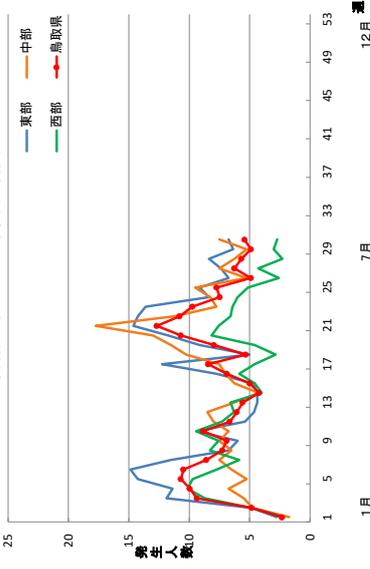


中国五県平均・全国平均との比較(定時点たり)

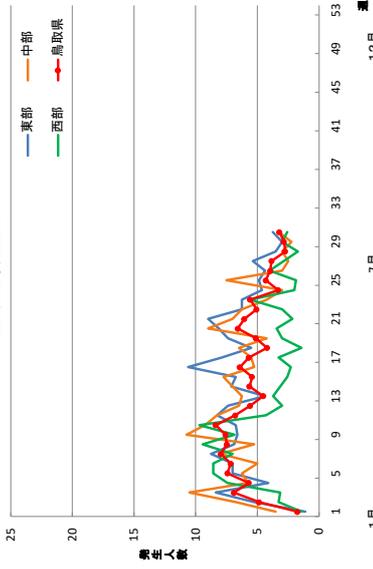


### 地区発生状況グラフ(定点あたり)

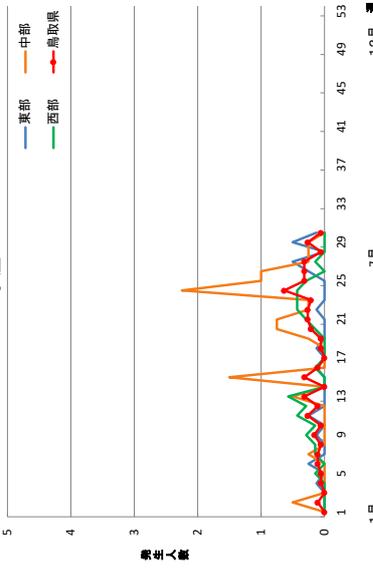
#### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



#### 感染性胃腸炎

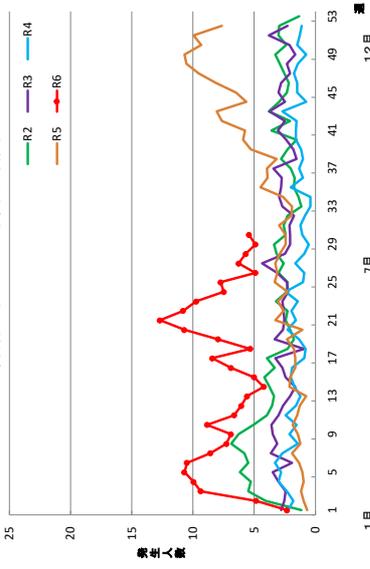


#### 水痘

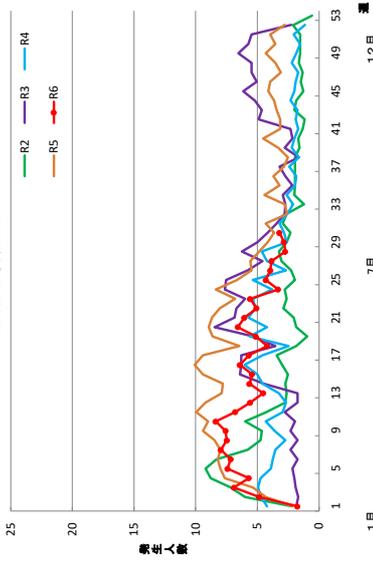


### 年次別発生状況グラフ(定点あたり)

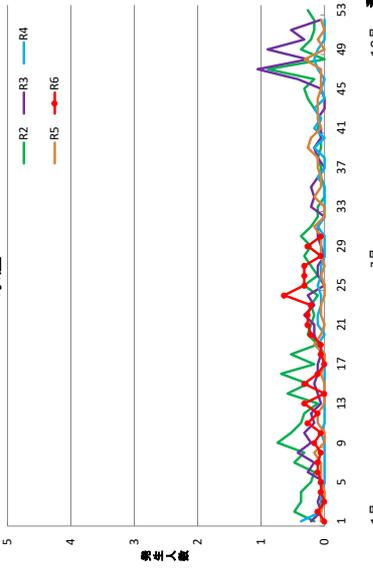
#### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



#### 感染性胃腸炎

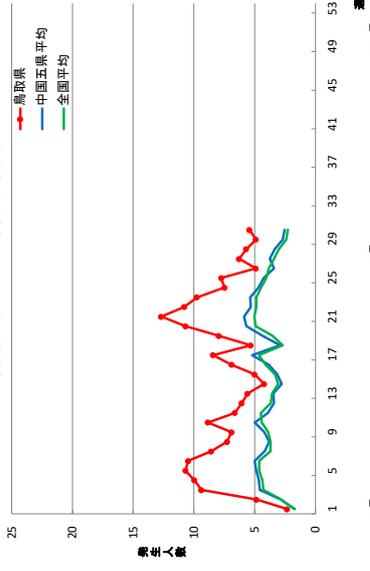


#### 水痘

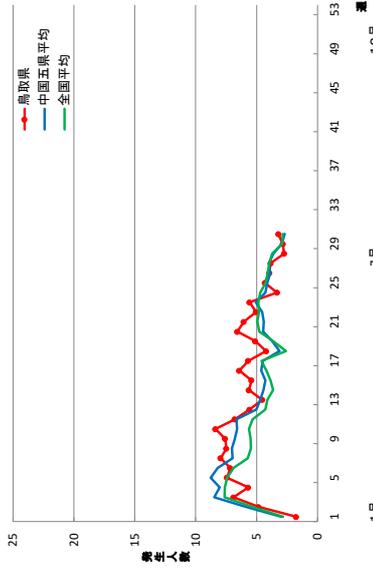


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)

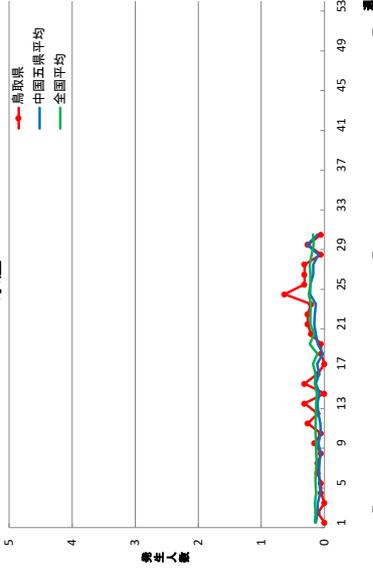
#### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



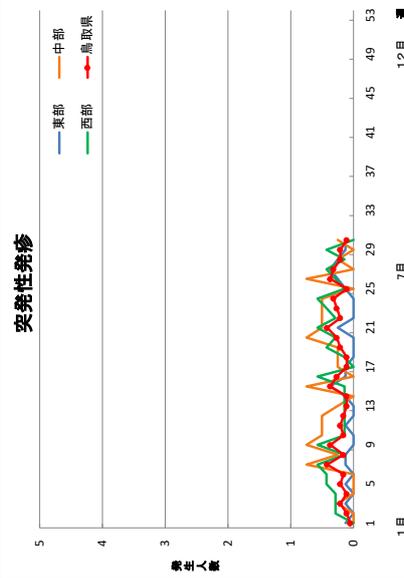
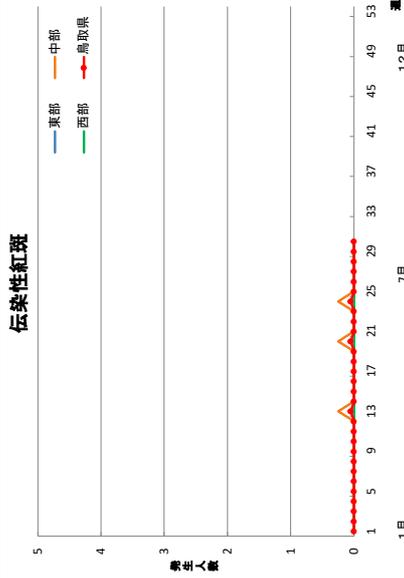
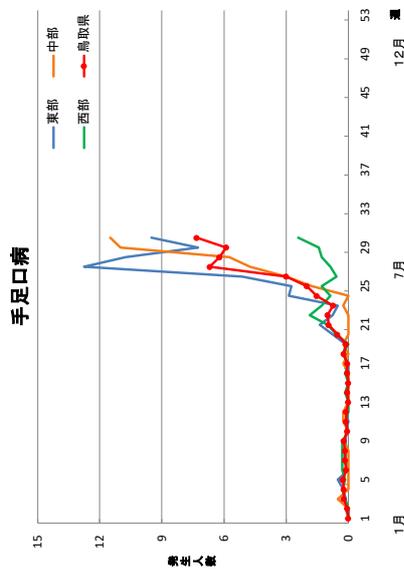
#### 感染性胃腸炎



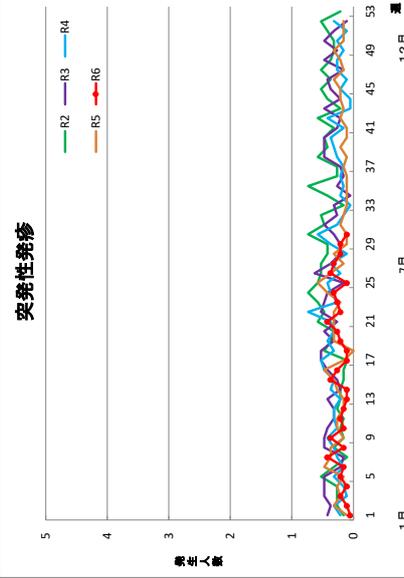
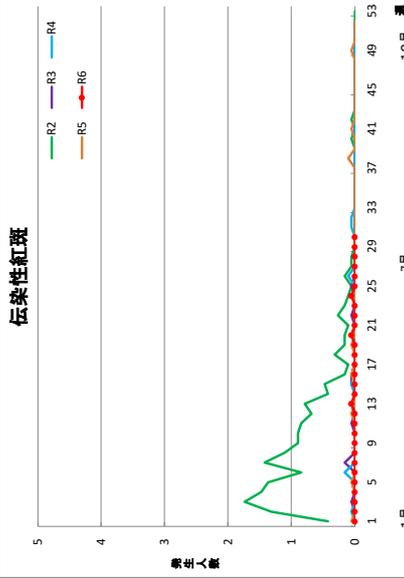
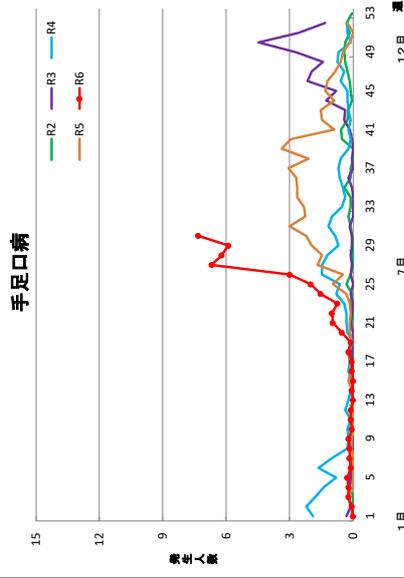
#### 水痘



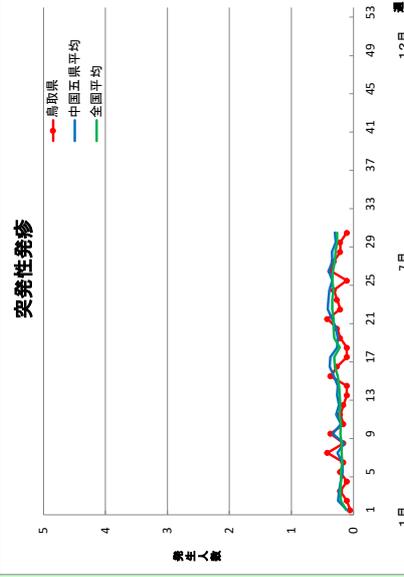
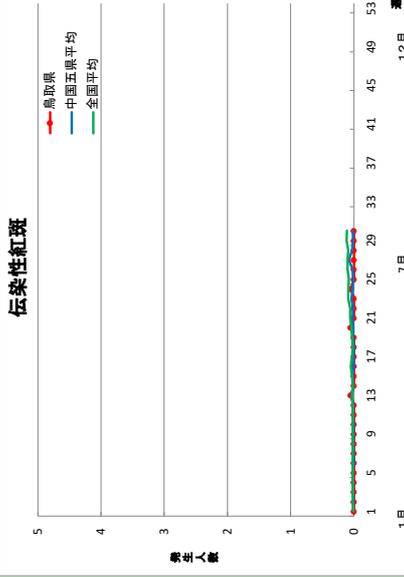
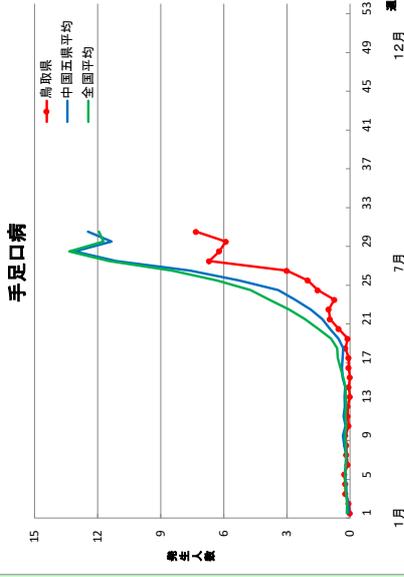
地区発生状況グラフ(定点あたり)



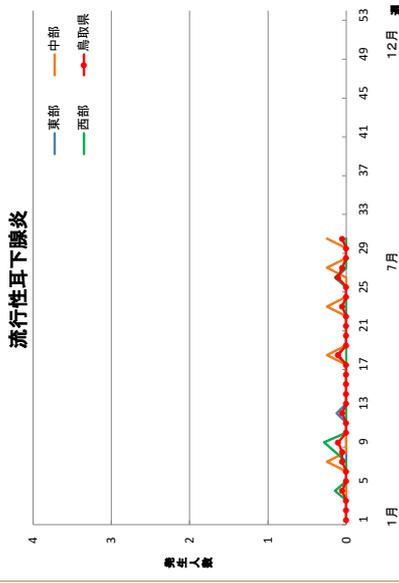
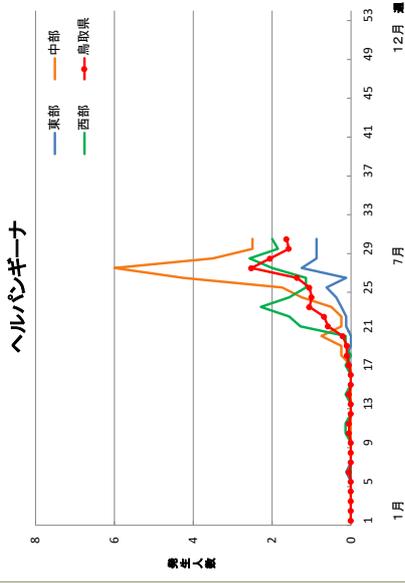
年次別発生状況グラフ(定点あたり)



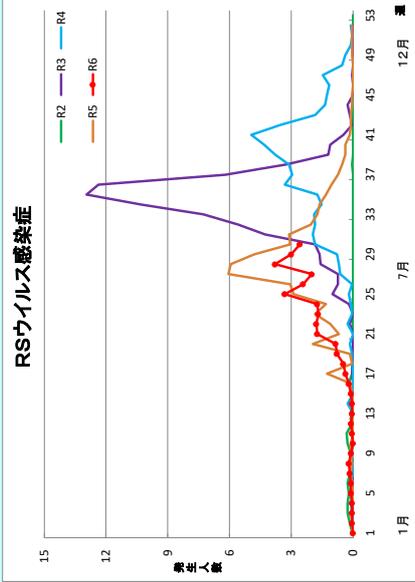
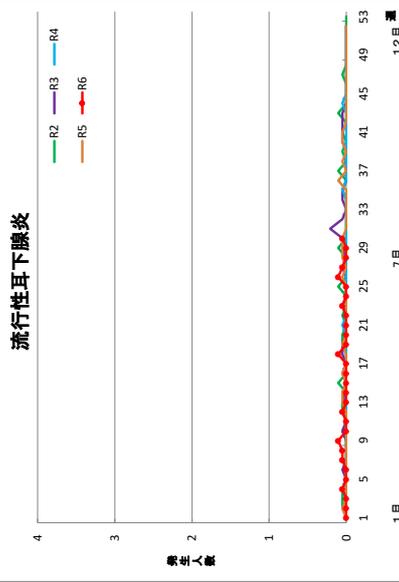
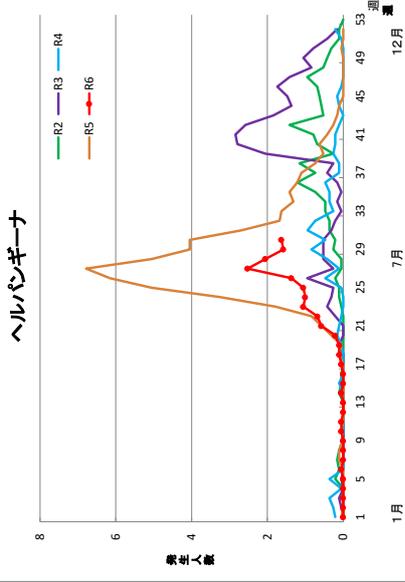
中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)



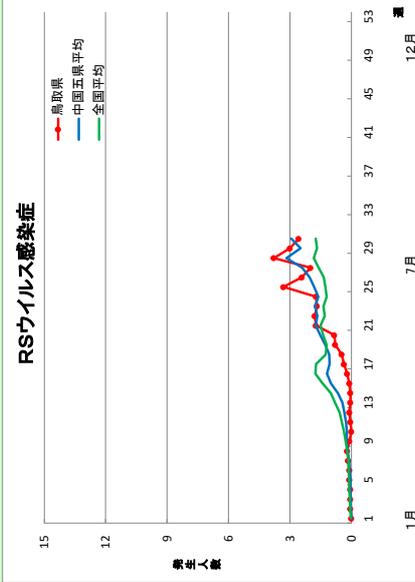
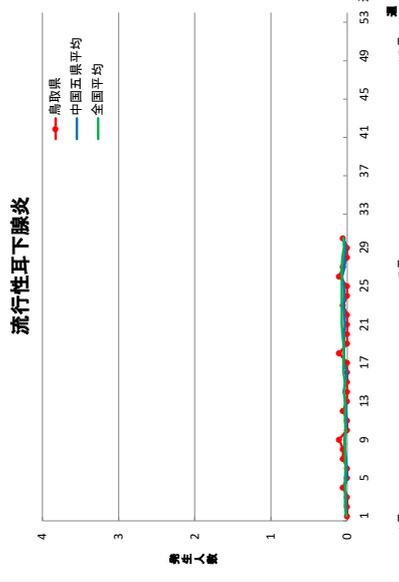
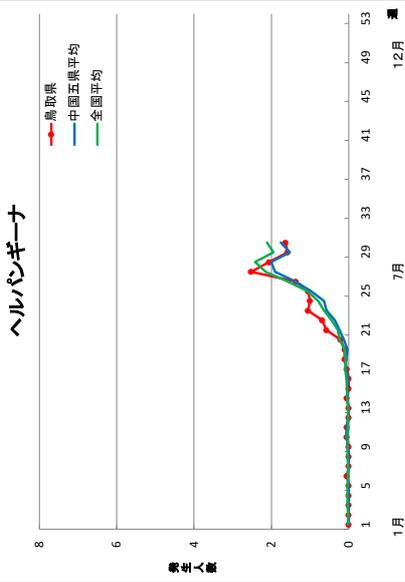
地区発生状況グラフ(定点当たり)



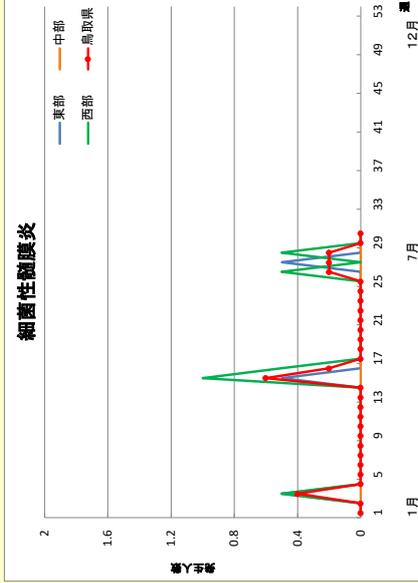
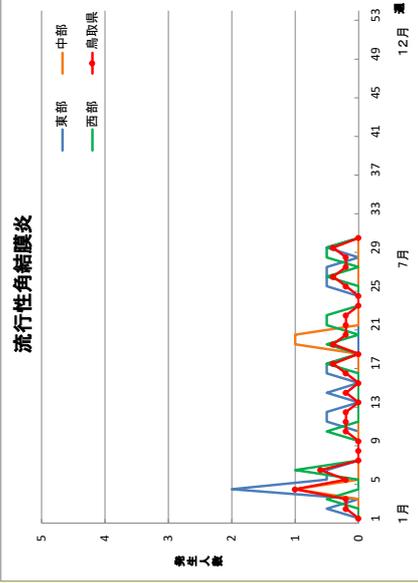
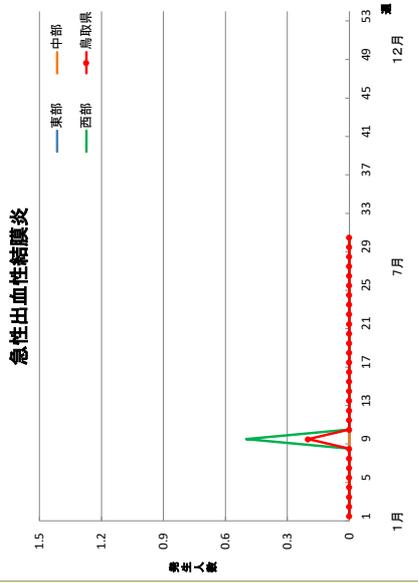
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



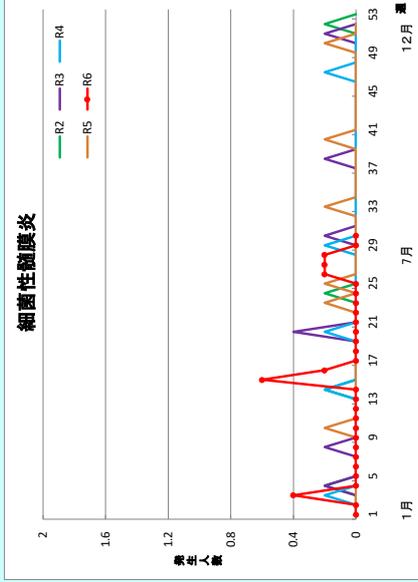
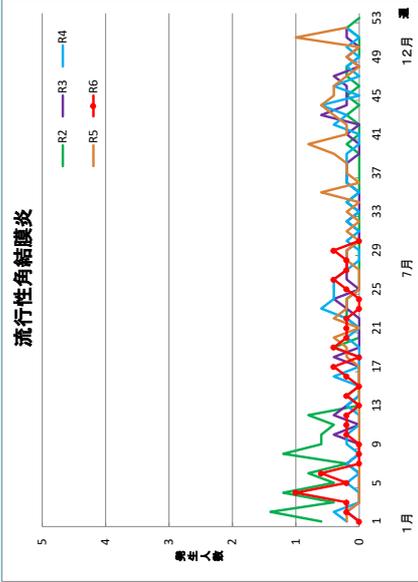
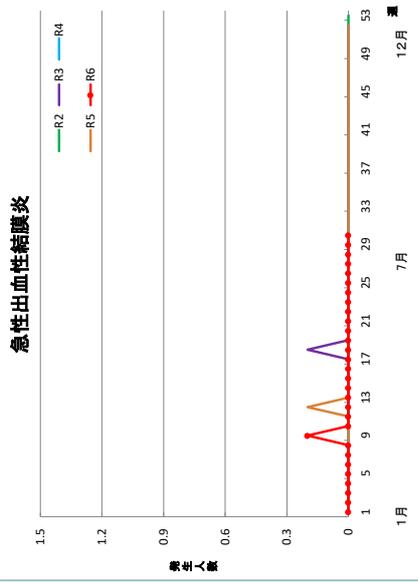
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



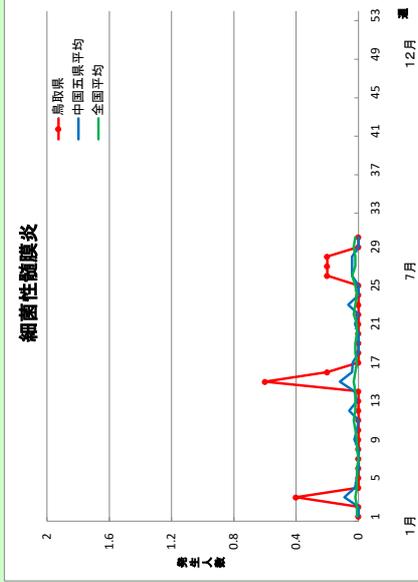
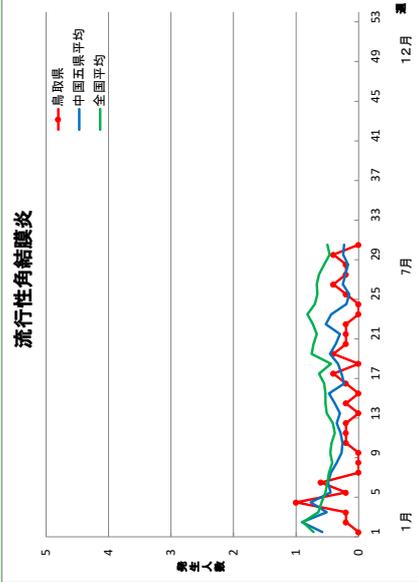
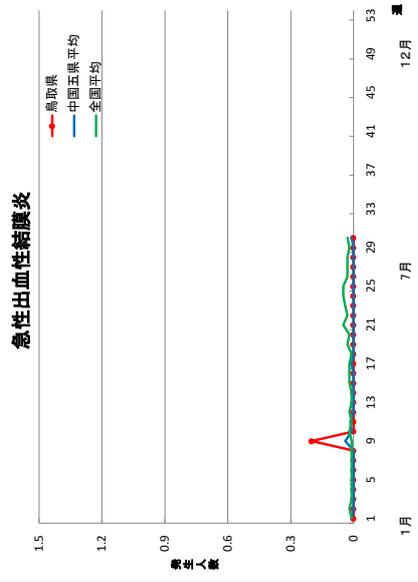
地区発生状況グラフ(定点あたり)



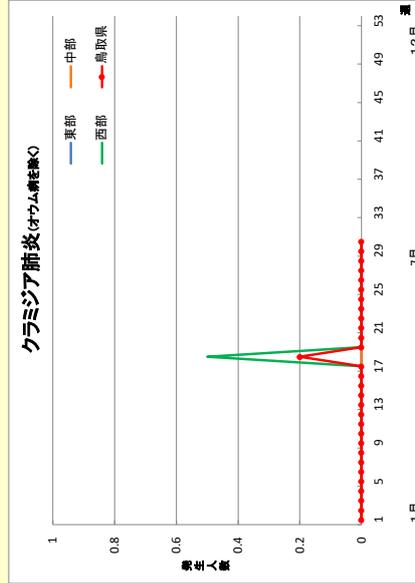
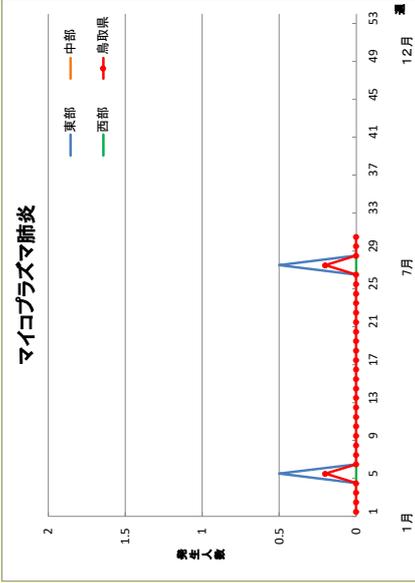
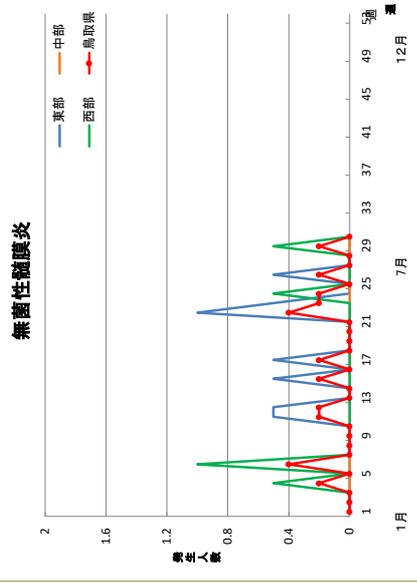
年次別発生状況グラフ(定点あたり)



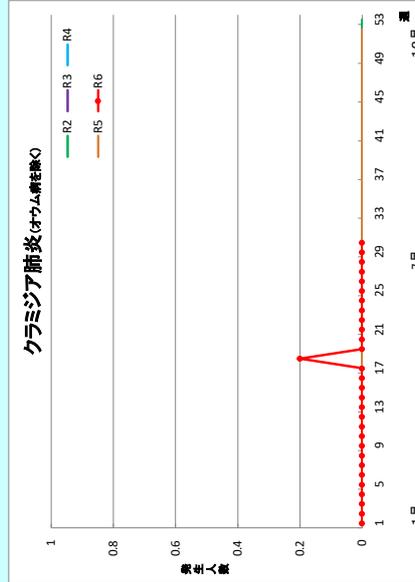
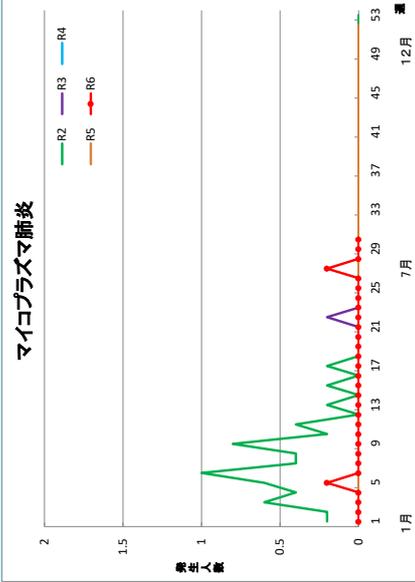
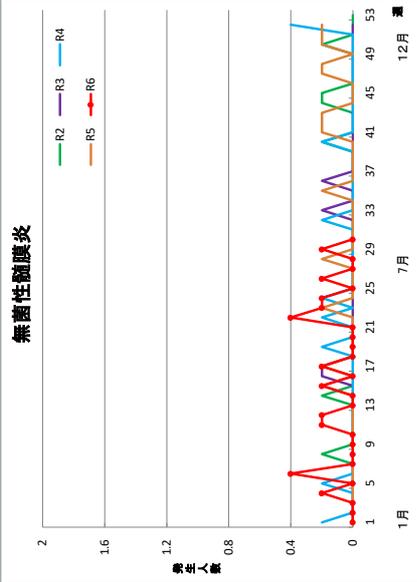
中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)



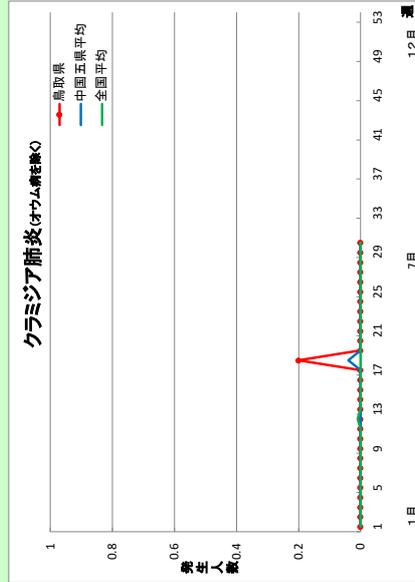
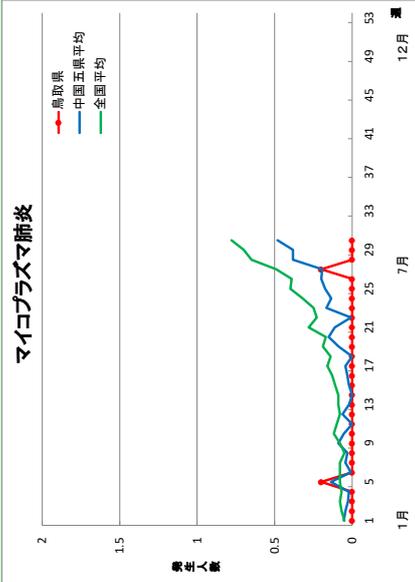
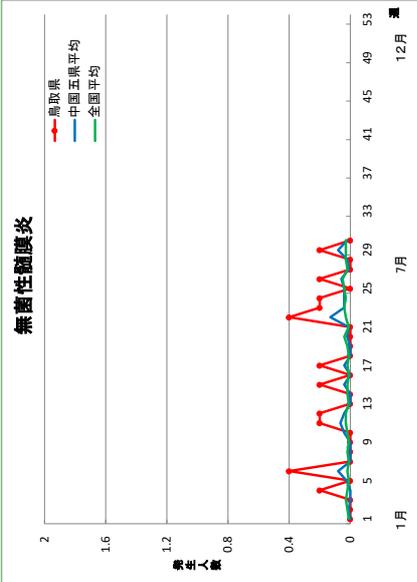
地区発生状況グラフ(定点当たり)



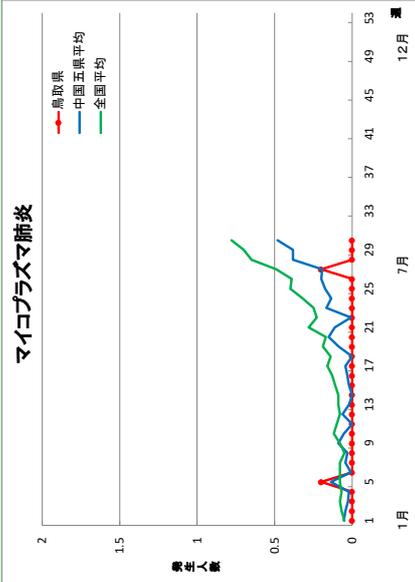
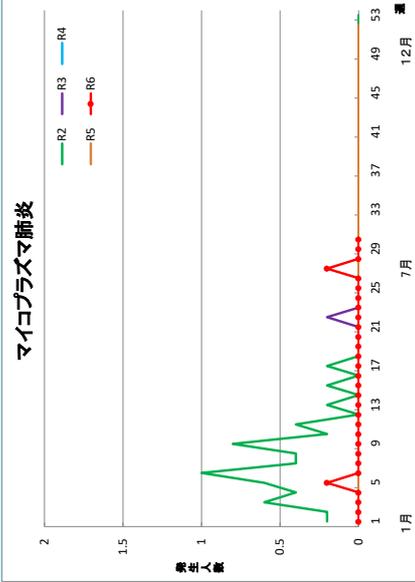
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



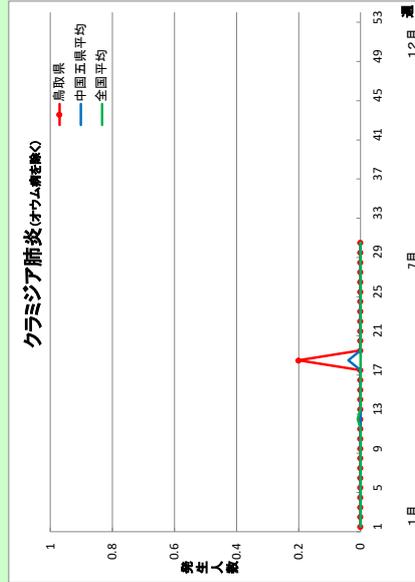
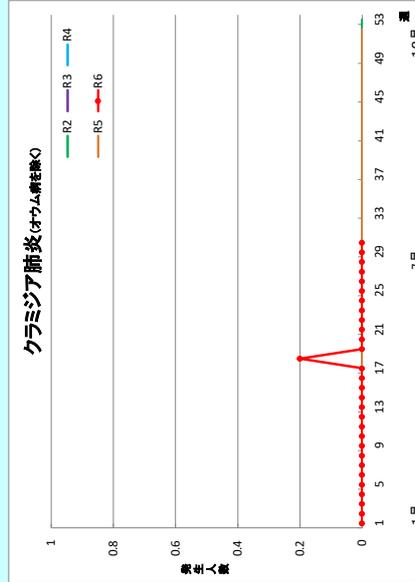
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



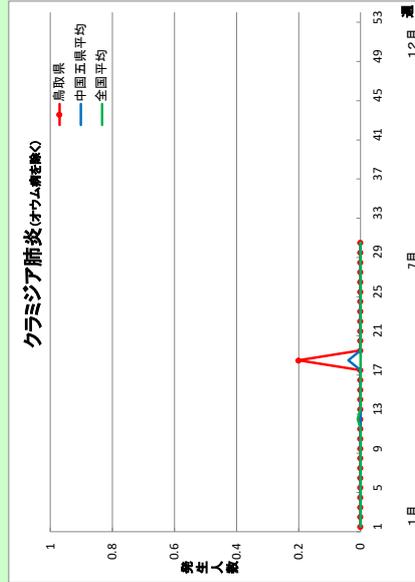
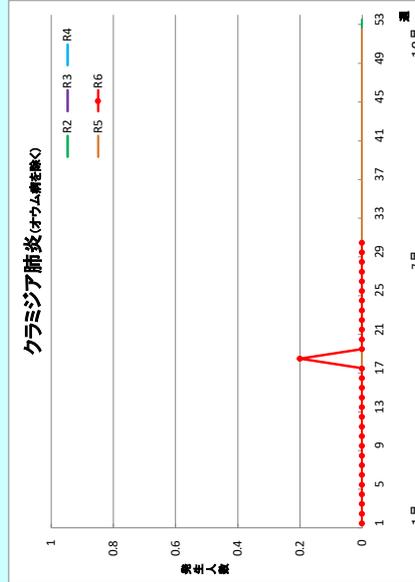
マイコプラズマ肺炎



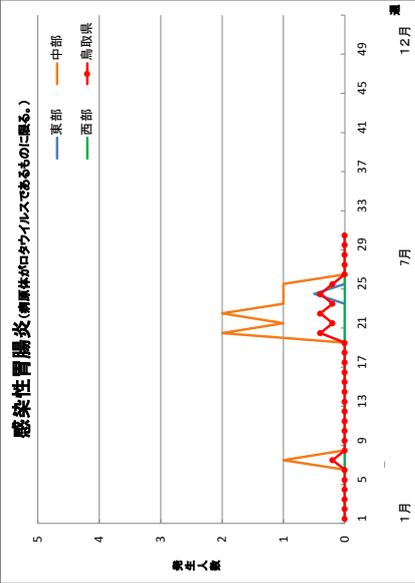
マイコプラズマ肺炎



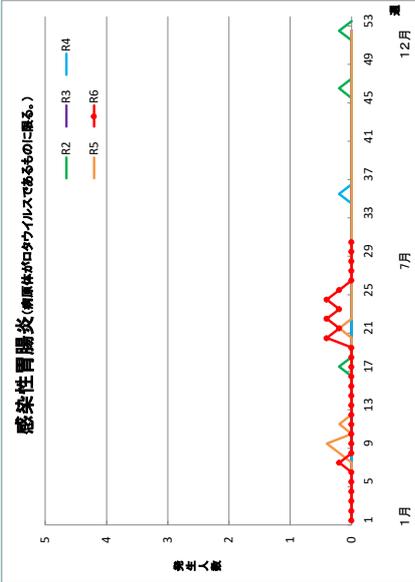
クラミジア肺炎(オウム標症除く)



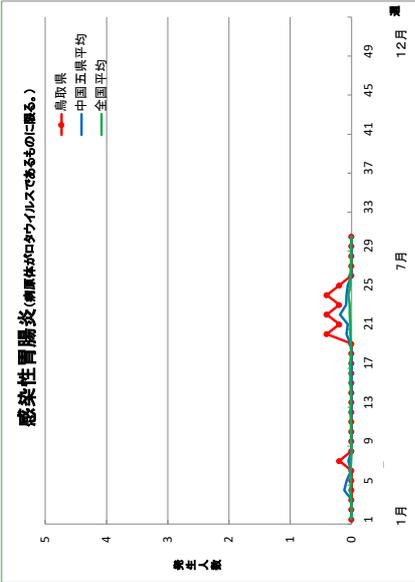
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)



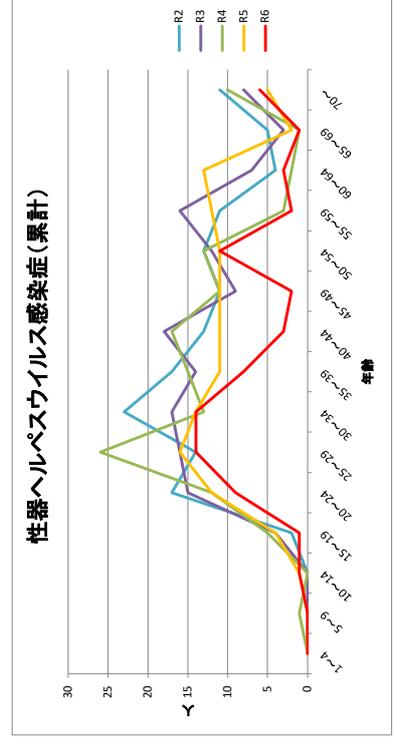
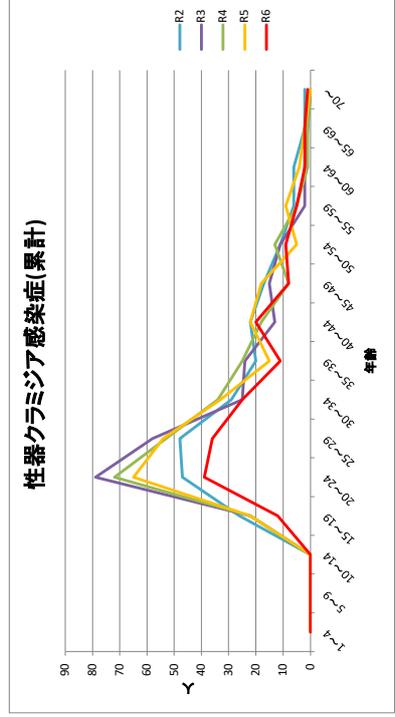
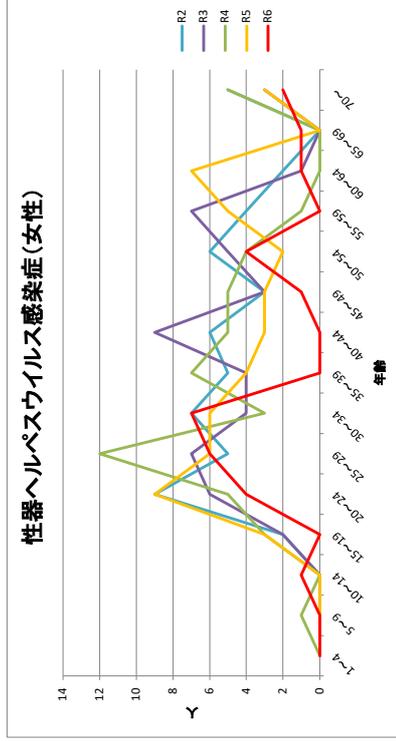
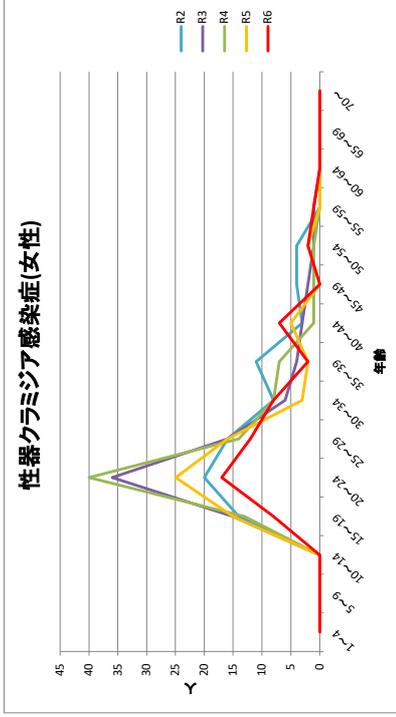
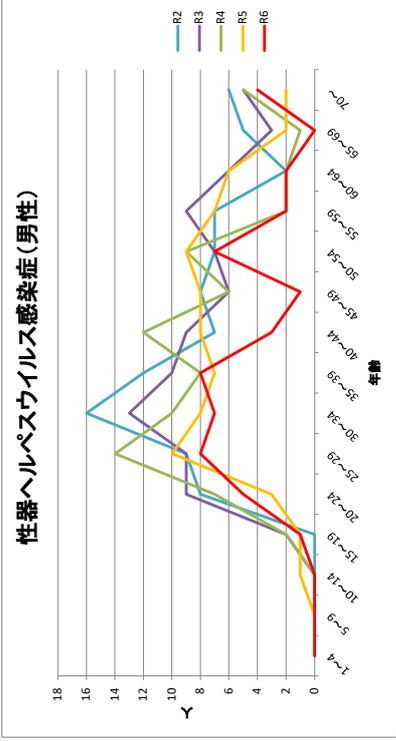
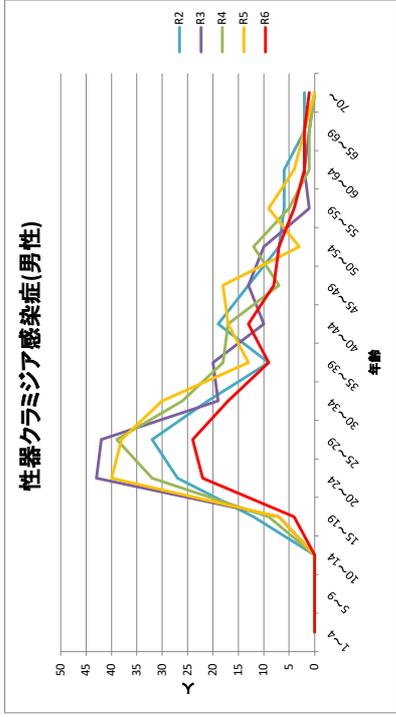
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



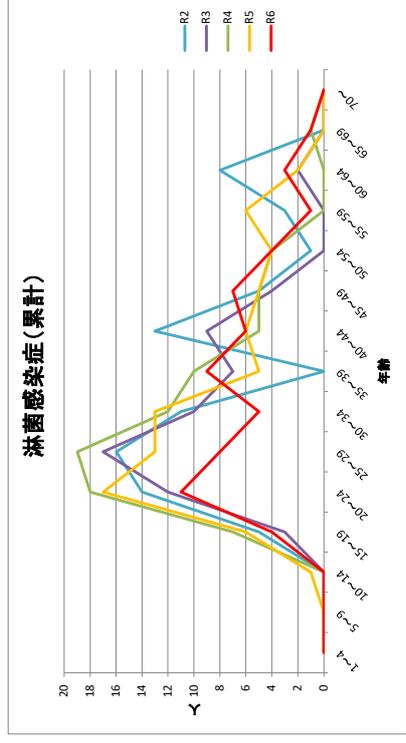
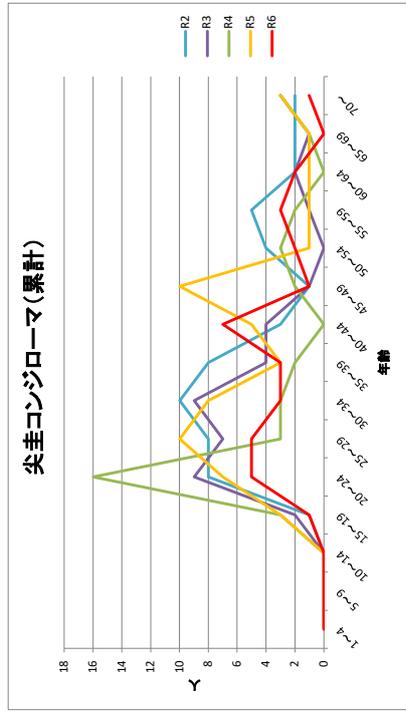
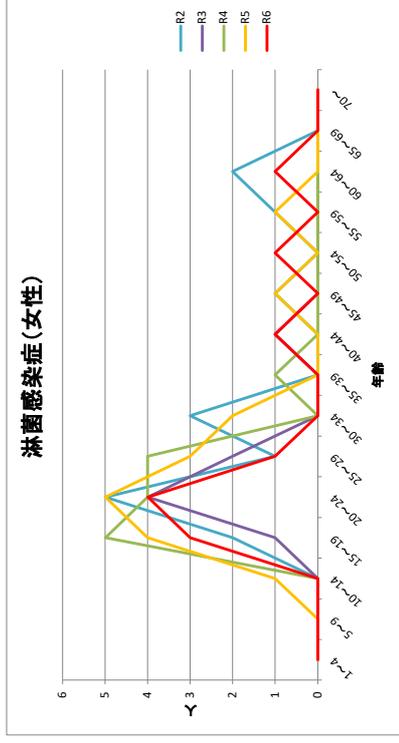
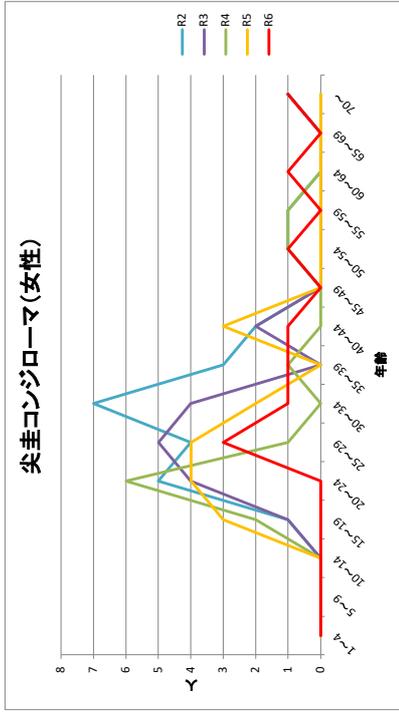
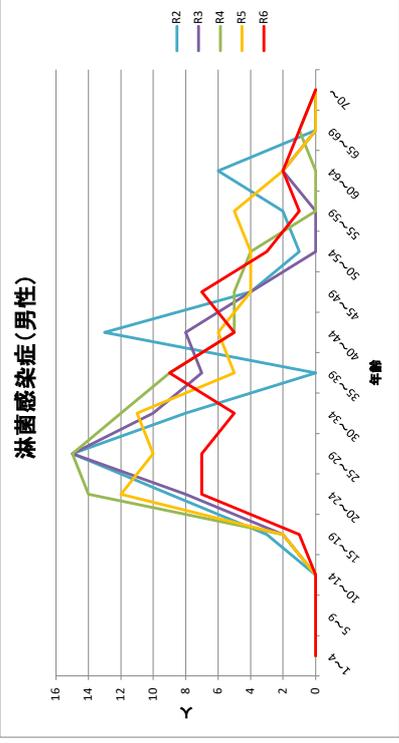
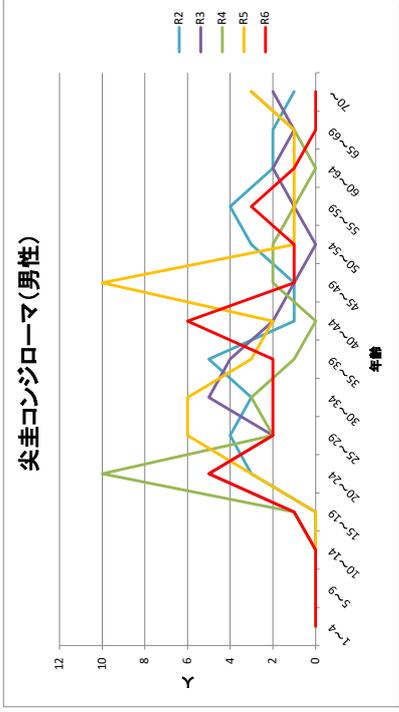
注) 新型コロナウイルス感染症は、令和6年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。



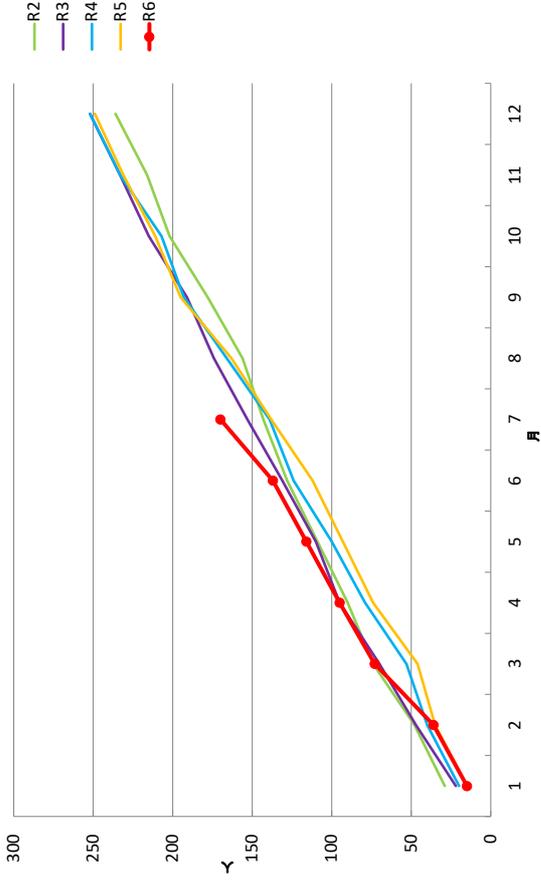
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



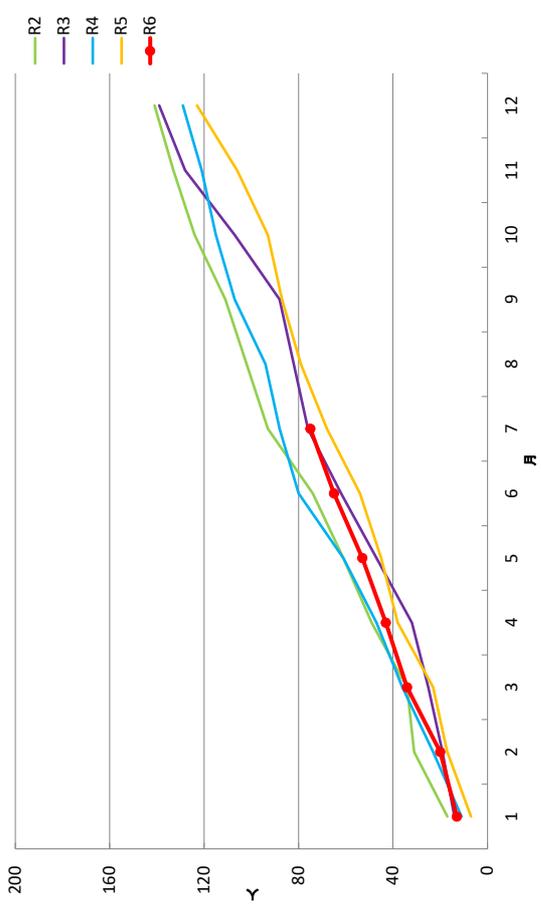
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



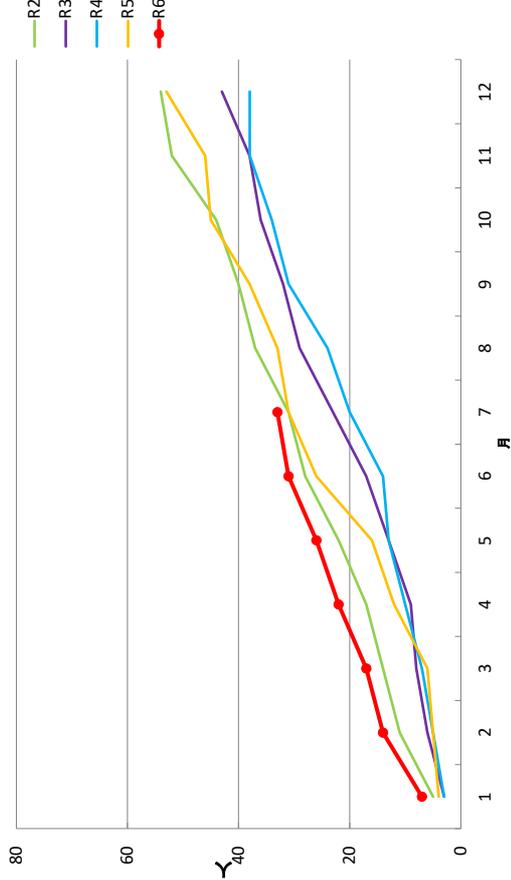
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



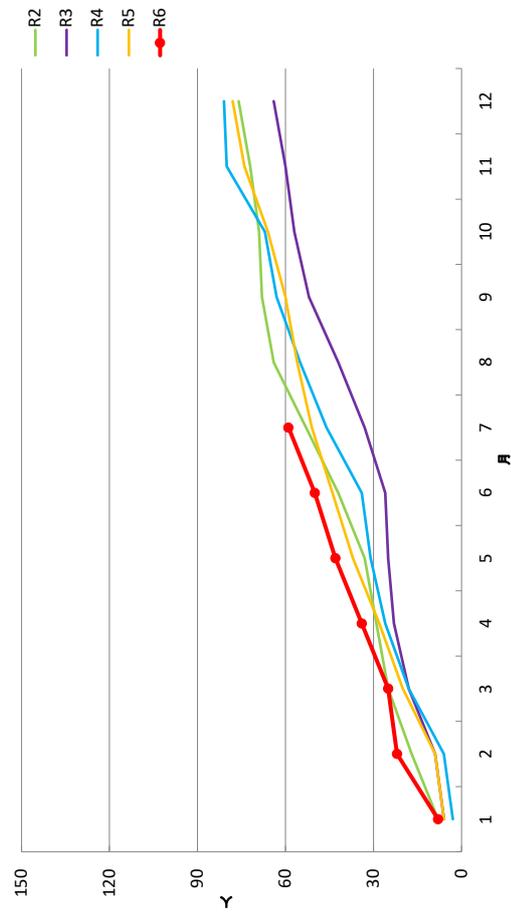
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



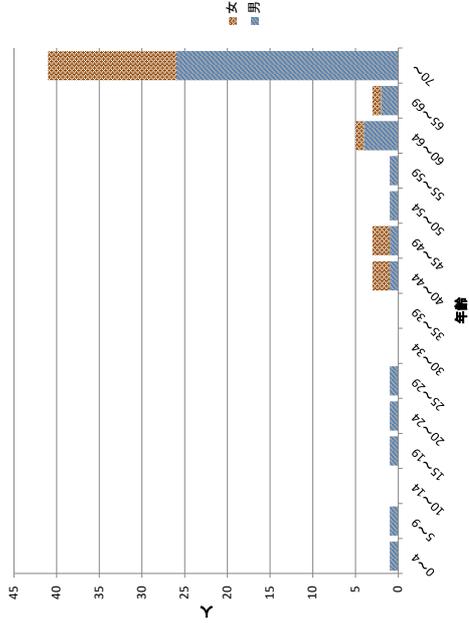
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



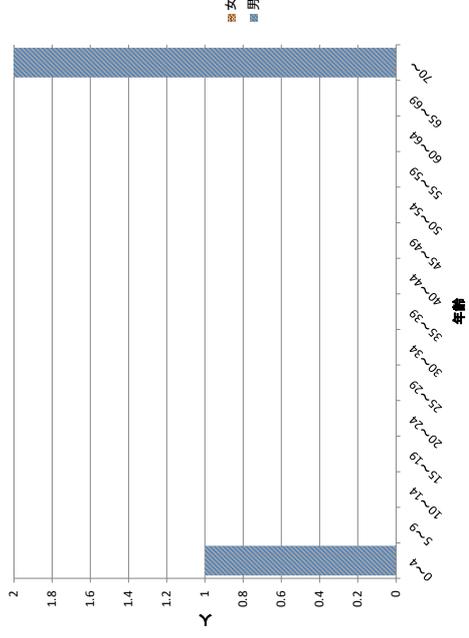
淋菌感染症報告状況(累計)



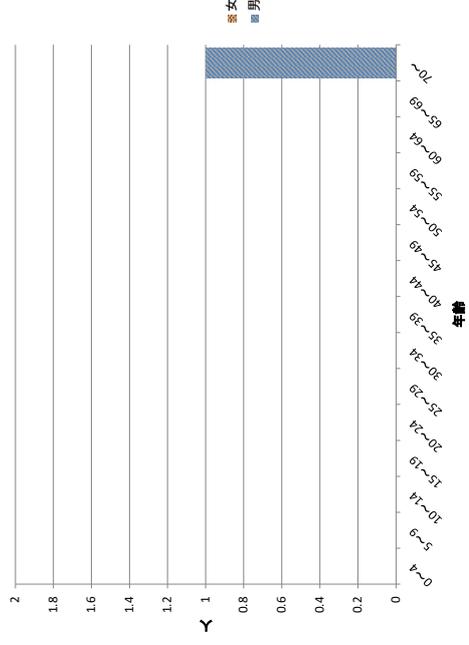
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(年齢別累計)



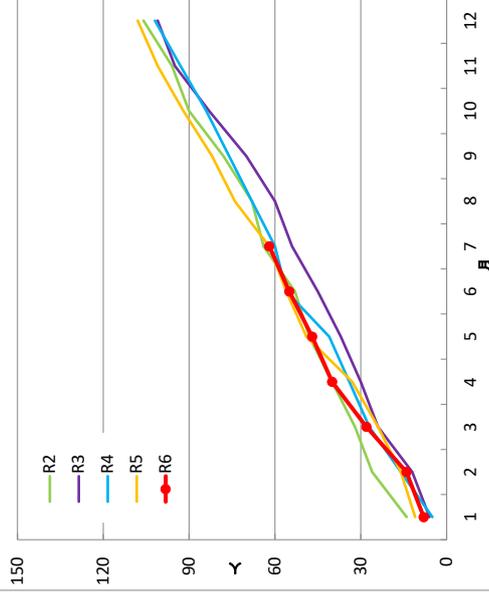
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
(年齢別累計)



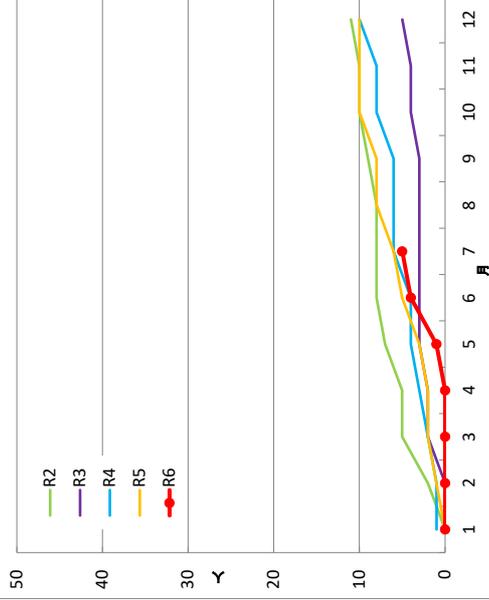
令和6年 薬剤耐性緑膿菌感染症  
(年齢別累計)



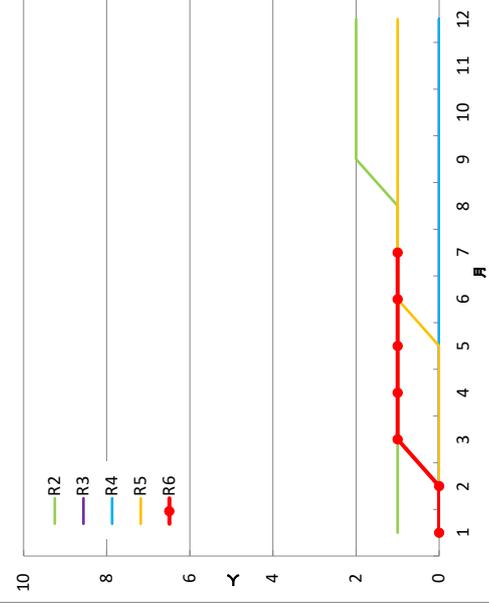
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和6年)

令和6年7月31日 現在

※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計									
													7月時点	年間								
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)							
結核	3	(1)	2	(2)	5	(5)	6	(2)	3	(5)	6	(2)	1	(4)	(5)	(5)	(3)	(6)	(1)	26	(21)	(41)
潜在性結核 ※再掲	1				2	(2)	2		1	(1)	2		1		(2)	(1)		(1)		9	(3)	(7)
疑似症患者 ※再掲																				0	(0)	(0)
ジフテリア																				0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群																				0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群																				0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)																				0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)																				0	(0)	(0)

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計					
													7月時点	年間				
コレラ													0	(0)	(0)			
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)			
細菌性赤痢													0	(0)	(0)			
腸管出血性大腸菌感染症		1		1		5		2	(1)	1		(5)	(9)	(2)	(2)	10	(1)	(19)
腸チフス																0	(0)	(0)
パラチフス																0	(0)	(0)

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													7月時点	年間		
マラリア													0	(0)	(0)	
E型肝炎							(1)						0	(1)	(1)	
A型肝炎													0	(0)	(0)	
つつが虫病				(1)									0	(1)	(1)	
日本紅斑熱					1	(1)	1			(1)		(1)	2	(1)	(3)	
重症熱性血小板減少症候群				(1)		1				(1)			1	(1)	(2)	
レジオネラ症	(1)			(1)	2	(2)	1	(2)	1	(1)	(1)	(1)	(1)	4	(7)	(11)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)	
デング熱						(1)							0	(1)	(1)	
チクングニア熱													0	(0)	(0)	

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計									
													7月時点	年間								
アメーバ赤痢			(1)	1		(1)	1			(1)			2	(2)	(3)							
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				(1)									0	(1)	(1)							
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				(1)									0	(1)	(1)							
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)		1		(2)		(1)					2	(3)	(4)							
クリプトスポリジウム症		(1)											0	(1)	(1)							
クロイツフェルト・ヤコブ病			1										1	(0)	(0)							
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	(1)		2	1	(1)	(1)	(1)	(1)			(1)	6	(3)	(6)							
後天性免疫不全症候群			(2)		(1)								0	(3)	(3)							
無症候性キャリア ※再掲			(1)		(1)								0	(2)	(2)							
AIDS ※再掲			(1)										0	(1)	(1)							
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1	(2)			(1)			2	(2)	(3)							
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)							
侵襲性肺炎球菌感染症	1	(1)	(1)	2	(1)	3	3	(2)	(2)		(1)		9	(7)	(8)							
水痘(入院例に限る。)					1		1					(1)	2	(0)	(1)							
梅毒	2	(1)	5	(6)	1	(1)	2	(4)	2	(3)	5	(4)	7	(1)	(1)	(4)	(1)	(2)	(1)	24	(20)	(29)
播種性クリプトコックス症			(2)	1									1	(2)	(2)							
破傷風													0	(0)	(0)							
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)							
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		(2)	(1)	1	2					(1)	(4)		3	(3)	(8)							
ジアルジア症													0	(0)	(0)							
百日咳	5	6	2	1	(1)	1	(1)	7	(1)	37			59	(3)	(3)							
麻しん						(1)							0	(1)	(1)							
風しん													0	(0)	(0)							

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)						10 (4)	10 (4)	
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	1 (0)	19 (6)	
令和4年		2 (2)				1	2	3				3 (1)	3 (2)	14 (3)	
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)					3	9 (6)	10 (6)	
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	10 (2)	26 (9)	
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)	9 (1)	24 (6)	
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			4 (2)	22 (2)	
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1				4 (3)	1 (1)	10 (7)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	5 (5)	16 (7)	
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1		3 (25)	60 (39)	
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)			7 (4)	15 (7)	
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)			2 (1)	26 (7)	
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1	2 (0)	15 (3)	
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1	9 (4)	20 (8)	

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和6年				2 (2)				2					1 (1)	4 (1)	1	10 (4)
令和5年		1 (1)												17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1			4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2				3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1				2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)												14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)			1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)						5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)							1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年														15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)				2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和6年	2	1	1	1 (1)	1		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1		10 (4)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計	
令和6年		3	7 (4)	10 (4)	
令和5年	3	(1)	7 (1)	9 (4)	
令和4年	5	(1)	6	14 (3)	
令和3年	4	(2)	3 (2)	10 (6)	
令和2年	3		15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6	(2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7		5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1		8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2	(1)	12 (5)	2 (1)	16 (7)
平成27年	4	(4)	45 (31)	11 (4)	60 (39)
平成26年	1		8 (4)	6 (3)	15 (7)
平成25年	4	(1)	9 (3)	13 (3)	26 (7)
平成24年	7	(2)	1	7 (1)	15 (3)
平成23年			2 (1)	18 (7)	20 (8)

# 鳥取県病原微生物検出情報（令和6年7月検出分；検体採取 令和6年6,7月）

令和6年8月16日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体1件（検体採取7月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザウイルスは検出されなかった。全国のインフルエンザ病原体定点においても、5月中旬（21週）以降はほとんど検出されていない（図1）。

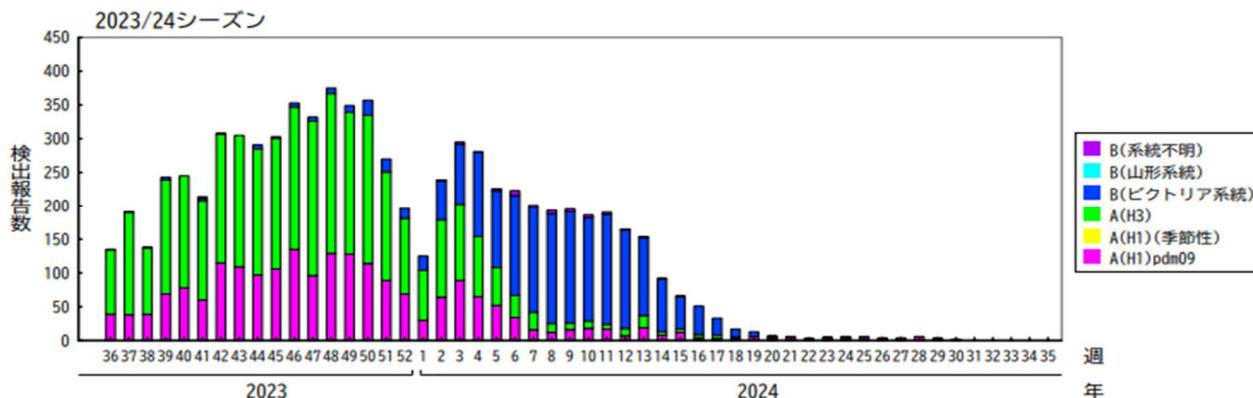


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件（ロタウイルス性感染性胃腸炎と診断されたものも含む）について検査を行ったところ、1検体からノロウイルスG2が検出されたが、VP1及びRdRp領域の遺伝子型は決定できなかった。他の3検体はノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）、アストロウイルスのいずれも検出されなかった（ロタウイルス性感染性胃腸炎についてはA群及びC群ロタウイルスのみを対象とした）。

## 3 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体1件について検査を行ったところ、コクサッキーウイルスA群6型（CA6）が検出された。CA6は全国的にも今年ヘルパンギーナから最もよく検出されている（図2）。

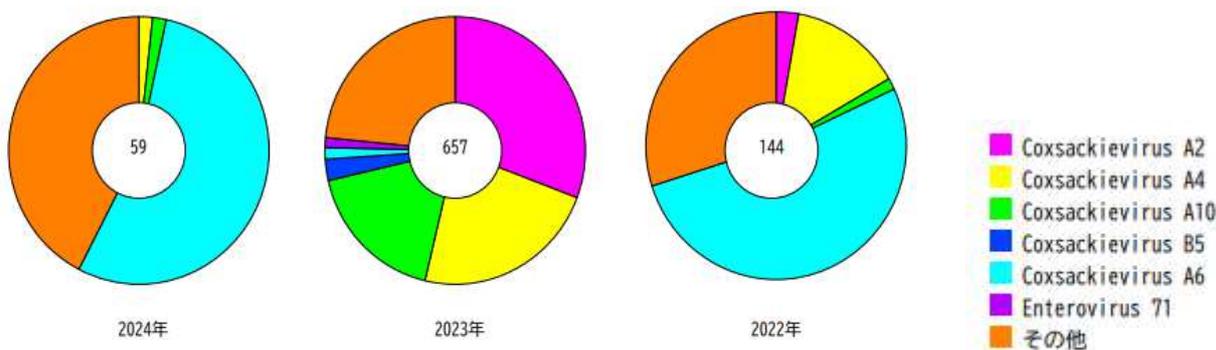


図2 ヘルパンギーナ患者から分離・検出されたエンテロウイルスの年別検出状況（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報

### 3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体2件についてアデノウイルスの検査を実施したところ、1検体からアデノウイルス3型が検出された。全国の流行性角結膜炎患者から検出されたアデノウイルスは図3のとおりであり、昨年からアデノウイルス3型の増加が顕著である。アデノウイルス3型は同じ結膜炎を起こす咽頭結膜熱の主要な原因ウイルスであり、咽頭結膜熱は昨年後半から今年前半にかけて流行している。咽頭結膜熱の初感染では流行性角結膜炎様の結膜炎を呈することもあるとされており [1]、鑑別が困難なことと関係している可能性が考えられる。

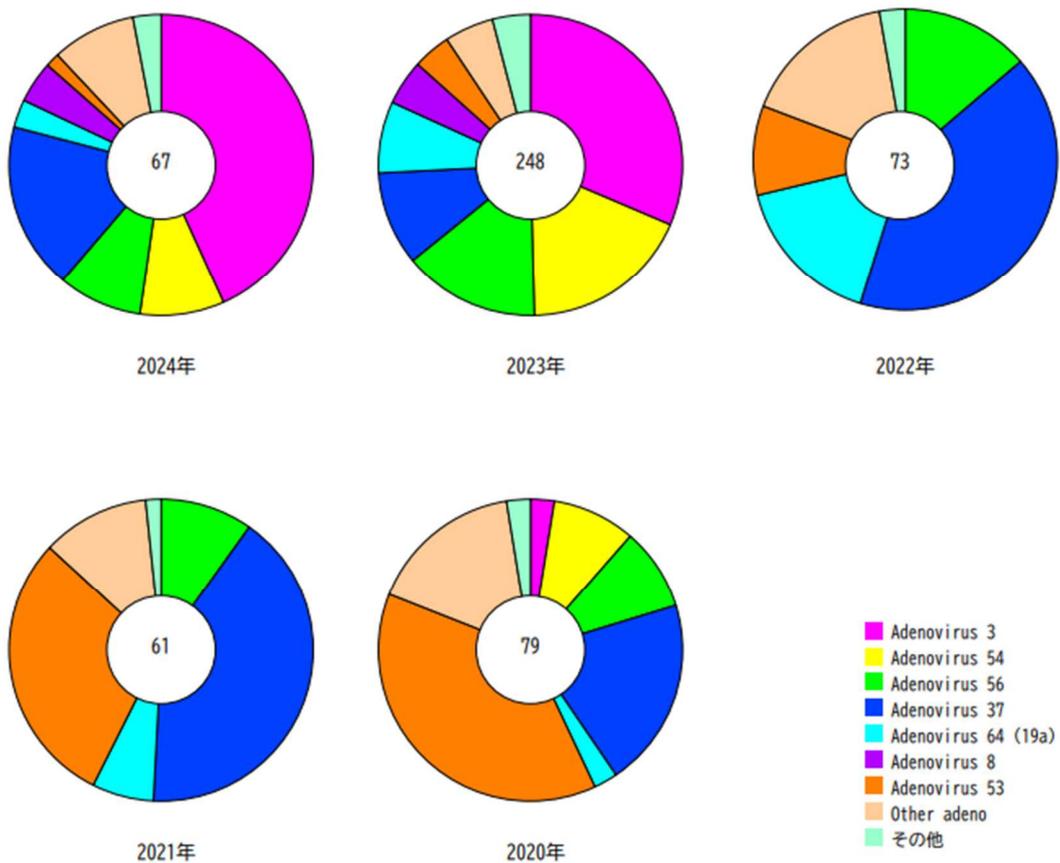


図3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたアデノウイルスの年別型別検出状況  
出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報

#### 【参考文献】

[1] 咽頭結膜熱・流行性角結膜炎検査診断マニュアル第3版（平成29年3月、国立感染症研究所作成）

# 新型コロナウイルスゲノム解析結果

令和6年8月16日  
鳥取県衛生環境研究所

- 解析日：2024年6月26日～8月2日
- 解析件数：120件（検体採取日5月31日～7月29日）
- 結果概要：KP.3系統（JN.1亜系統）が101件

系統	Lineage (pangolon)	件数	備考	前回の検出数
KP.3系統	KP.3	1	JN.1の亜系統	0
	KP.3.1系統	8		1
	KP.3.2系統	5		0
	KP.3.3系統	87		18
JN.1系統 (KP.3以外)	JN.1系統	3	BA.2.86.1の亜系統	2
	KP.1系統	1	JN.1の亜系統	5
	KP.2系統	2		1
JN系統 (JN.1以外)	JN.15	0	BA.2.86.1の亜系統	1
	JN系統他	1		0
組換え体(XBB以外)	XDQ	0	BA.2.86.1とFL.15.1.1の組換え株	3
	XDQ.1	1	XDQの亜系統	10
	XDQ.1.1	0		1
	XDV.1	1	JN.1の亜系統	2
EG.5系統	EG.5.1.1	2	XBBの亜系統	1
	解析不能	8		2
	合計	120		47

※赤字の系統：現在流行中の注目すべき変異株 (VOIs) (WHO指定) (2024.6.28更新) →BA.2.86系統, JN.1系統

※青字の系統：現在流行中の監視下の変異株 (VUMs) (WHO指定) (2024.6.28更新) →JN.1.7, KP.2, KP.3, JN.1.18, LB.1

## ゲノム解析結果の推移(月別)

- BA.2系統(BA.2.86,2.75系統を除く)
- BA.2.75系統
- BN.1
- BA.2.86系統
- JN.1系統(KP.3以外)
- JN系統(JN.1以外)
- KP.3系統
- BA.5系統
- BF.7系統
- BQ.1系統
- 組換え体(XBB以外)
- XBB組換え体
- GK.1系統
- EG.5系統

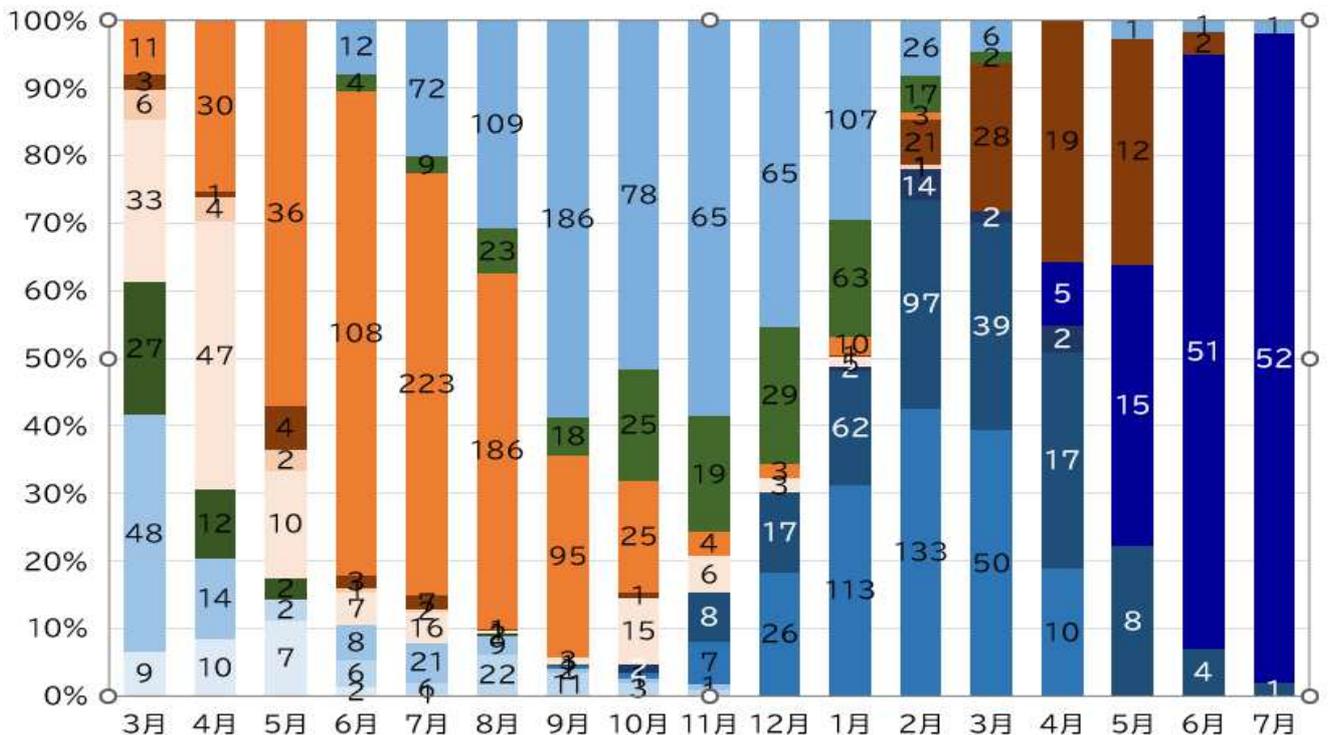


図1 月別新型コロナウイルスゲノム解析結果 (2023/24 シーズン)

